

第3回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場

《日時・会場》（北多摩西部）

平成28年2月17日（水）17:00～18:30

／新宿NSビル 3-H会議室

1 開 会

2 説 明

(1) 東京都地域医療構想（骨子）案について

(2) 構想区域の特徴について

3 意見交換

構想区域の現状と課題

4 閉 会

【配布資料】

資料1-1 東京都地域医療構想骨子案について（構成）

資料1-2 東京都地域医療構想（骨子）案

資料2 意見交換 ～北多摩西部における現状と課題～

資料3 医療・介護資源の状況

資料4 構想区域の特徴

資料5 構想区域間の患者の流出入状況

資料6 <入院料・疾患別>患者の受療動向（完結率）

参考1 構想区域（地図）

参考2 平成27年度第2回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場
（構想区域別意見）

意見交換 ～北多摩西部における現状と課題～

<患者の流出入の状況（2025年推計）>

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
流出超過 (81.3人/日)	流出超過 (77.6人/日)	流出超過 (50.3人/日)	流出超過 (217.2人/日)

1 流出について

(論点の例示)

○北多摩西部に住む患者を北多摩西部の医療機関で診ている割合 (自構想区域完結率)について

- ・高度急性期～急性期機能
 - 構想区域内の医療機関に入院している7割前後が自構想区域内の患者となっている。一方、構想区域内の患者の3～4割が他の構想区域へ流出。ただし、流出先は多摩地域が多く、都内隣接区域を含めると完結率は約9割となる。
- ・慢性期機能 → 自構想区域完結率は40.8%であるが、都内隣接区域で入院している患者を含むと89.4%と西多摩について高い。

○連携について

- ・患者が転院や退院により、住み慣れた地域（住所地）に戻る際、入院していた医療機関との情報共有、連携が必要となるが、課題は何か。

2 流入について

(論点の例示)

○連携について

- ・入院患者が、円滑に転退院するためには、患者の転院先や患者の住む地域の医療機関等との連携が必要となるが、課題は何か。
- ・例えば、慢性期機能は、北多摩西部の医療機関が含む様々な地域から患者を受け入れている。

3 提供している医療の現状（診療科別、機能別など）

(論点の例示)

- 不足している医療・機能
- 将来に向けて不足することが懸念される医療・機能

特 徴

- 救命救急センター 1施設
- 障害者施設等入院基本料を算定している病床数が人口10万対で都平均の1.8倍、特殊疾患入院医療管理料/入院料を算定している病床数は同じく2.4倍
- 療養病棟入院基本料算定病床数は、高齢者人口10万対で都平均の1.3倍
- 療養型介護療養施設サービス費算定病床数は少なく、高齢者人口10万対で都平均の半分
- 地域包括ケア病棟入院料算定病床数は、人口10万対で都平均の1.8倍

届 出 の 状 況

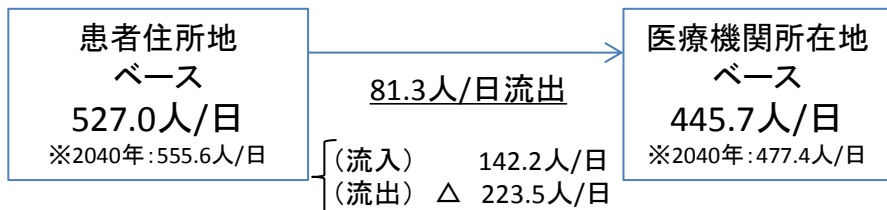
北多摩西部の届出状況	病床数	北多摩西部 人口10万対	都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	0	0.0	97.2
一般病棟7対1入院基本料	1579	245.2	251.4
一般病棟10対1入院基本料	649	100.8	95.1
一般病棟13対1入院基本料	36	5.6	20.0
一般病棟15対1入院基本料	53	8.2	25.5
療養病棟入院基本料 ※1	847	572.0	456.1
療養型介護療養施設サービス費(介護療養病床として使用) ※2	68	45.9	101.5
障害者施設等入院基本料	352	54.7	30.9
特殊疾患入院医療管理料/入院料	32	5.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	306	47.5	40.7
地域包括ケア病棟入院料/管理料	44	6.8	3.7
緩和ケア病棟入院料	0	0.0	3.7

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は、高齢者人口を使用

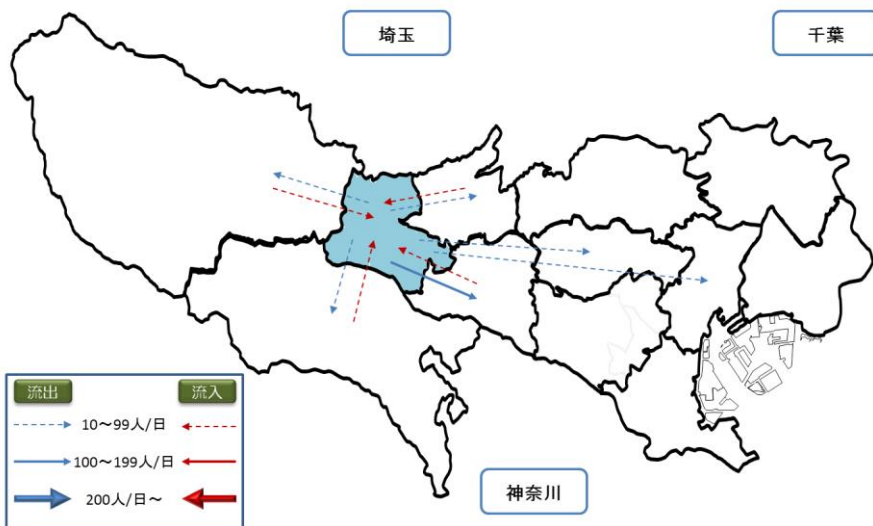
【参考】都全域の状況

	一般 病床	療養 病床	精神 病床	特定 機能 病院	大学 病院 本院	救命 救急 センター	在支病	内 高齢者 人口 10万対	在支診	内 高齢者 人口 10万対	訪看 St.	内 高齢者 人口 10万対	特養	内 高齢者 人口 10万対	老健	内 高齢者 人口 10万対
区中央部	8,239	1,699	1,307	6	5	6	3	1.9	184	113.9	65	40.2	2,046	1,266.8	789	488.5
区南部	6,574	1,518	178	2	2	2	5	2.1	145	61.4	71	30.0	2,146	908.0	670	283.5
区西南部	8,239	1,699	1,307	0	0	3	4	1.5	203	75.2	112	41.5	2,592	960.3	1,176	435.7
区西部	9,115	1,498	315	3	3	3	8	3.2	179	72.6	88	35.7	2,495	1,011.5	868	351.9
区西北部	10,671	3,690	3,320	2	2	2	18	4.3	254	60.9	135	32.4	4,712	1,129.2	3,018	723.3
区東北部	7,407	2,092	1,453	0	0	1	15	4.7	133	41.6	97	30.4	4,529	1,417.6	2,965	928.1
区東部	7,331	1,174	165	0	0	1	7	2.3	120	39.9	74	24.6	3,185	1,058.4	2,328	773.6
西多摩	1,925	2,316	2,622	0	0	1	5	4.9	20	19.6	28	27.4	6,802	6,650.6	1,315	1,285.7
南多摩	6,660	3,962	7,227	0	0	2	13	3.8	96	28.3	86	25.4	5,722	1,687.5	2,541	749.4
北多摩西部	3,449	1,150	63	0	0	1	5	3.4	48	32.4	46	31.1	2,254	1,522.1	1,489	1,005.5
北多摩南部	6,384	1,464	3,465	1	1	3	9	4.3	98	46.4	67	31.7	2,223	1,052.7	1,597	756.3
北多摩北部	4,412	1,743	2,193	0	0	1	4	2.3	57	32.5	55	31.4	2,978	1,698.5	1,569	894.9
島しょ	110	6	0	0	0	0	0	0.0	3	33.7	0	0.0	322	3,621.2	0	0.0

2025年推計患者数



流出入の状況



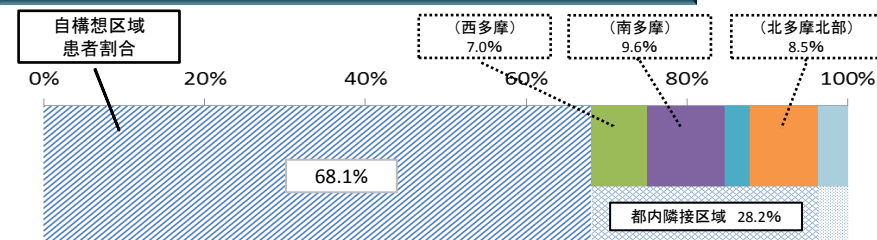
流入

1	南多摩	42.7人/日
2	北多摩北部	37.9人/日
3	西多摩	31.1人/日

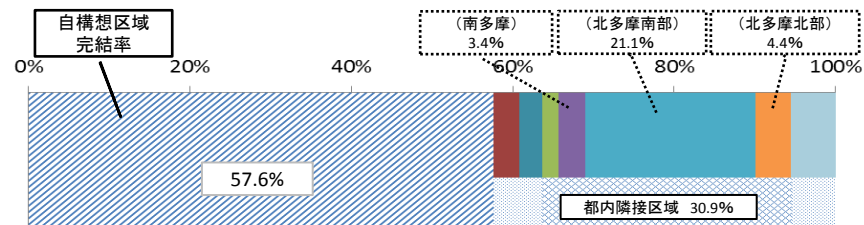
流出

1	北多摩南部	111.0人/日
2	北多摩北部	23.3人/日
3	南多摩	17.8人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 88.5%

- 区中央部や区西部への流出も見られるが、主な流出先・流入元は多摩地域が中心
- 自構想区域完結率が57.6%で、都内隣接区域を含むと88.5%と多摩地域で最も高い。
- 流出先は北多摩南部が多く、流出患者の約半数を占める。

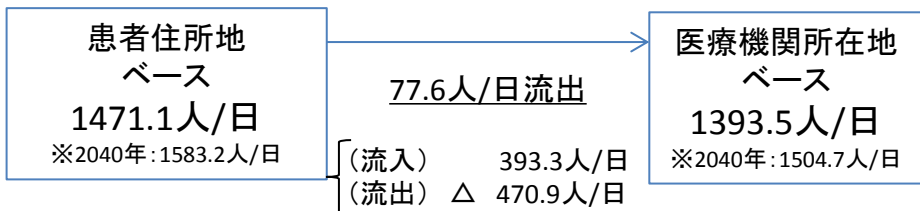
《凡例》

- 北多摩西部 ■ 区中央部 ■ 区南部 ■ 区西南部 ■ 区西部
- 区西北部 ■ 区東北部 ■ 区東部 ■ 西多摩 ■ 南多摩
- 北多摩南部 ■ 北多摩北部 ■ 島しょ ■ 埼玉県 ■ 千葉県
- 神奈川県 ■ その他・未詳

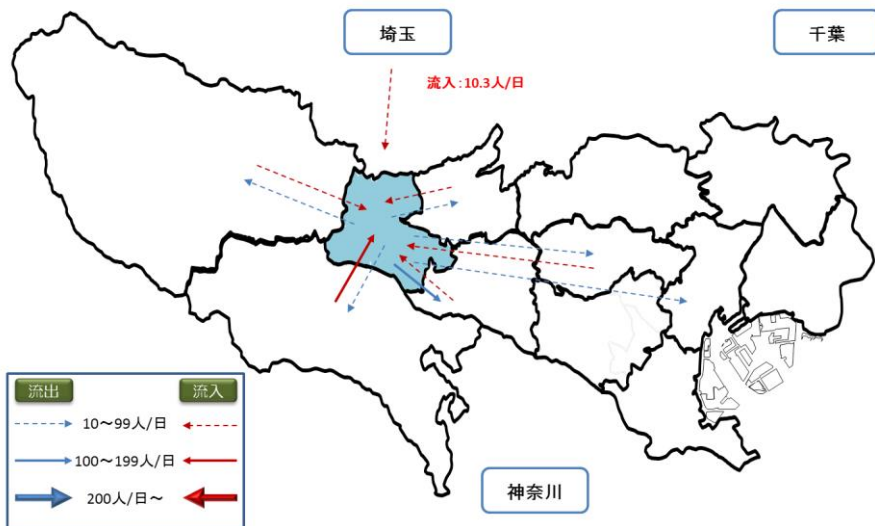
※ 自構想区域完結率: 北多摩西部に住所地を持つ患者が、北多摩西部の医療機関に入院している割合

※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



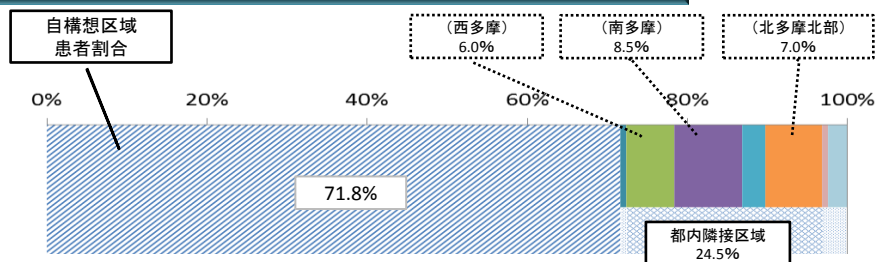
流入

1	南多摩	118.3人/日
2	北多摩北部	98.1人/日
3	西多摩	83.6人/日

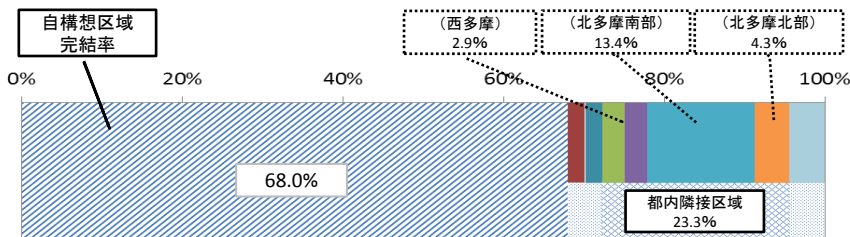
流出

1	北多摩南部	197.4人/日
2	北多摩北部	63.5人/日
3	西多摩	42.5人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 91.3%

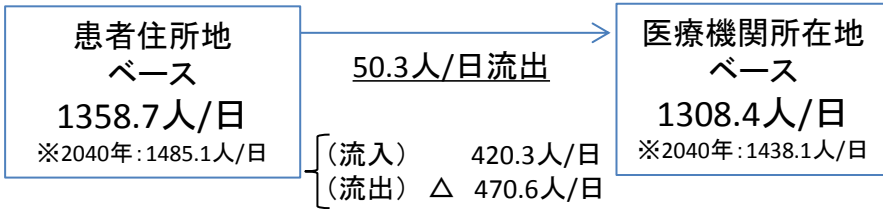
- 区中央部や区西部への流出も見られるが、主な流出先・流入元は多摩地域が中心
- 自構想区域患者割合が71.8%となっており、地域住民を診ている割合が高い。
- 自構想区域完結率が68.0%で、都内隣接区域を含むと91.3%と、多摩地域で最も高い。
- 流出患者のほとんどが都内で収まっており、特に多摩地域の隣接区域が流出先の中心となっている。

《凡例》

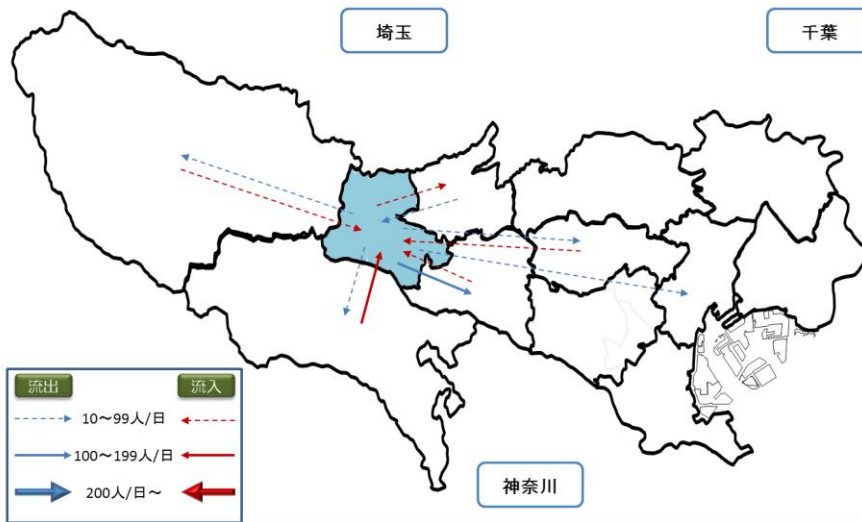
- 北多摩西部 ■ 区中央部 ■ 区南部 ■ 区西南部 ■ 区西部
- 区西北部 ■ 区東北部 ■ 区東部 ■ 西多摩 ■ 南多摩
- 北多摩南部 ■ 北多摩北部 ■ 島しょ ■ 埼玉県 ■ 千葉県
- 神奈川県 ■ その他・未詳

※ 自構想区域完結率: 北多摩西部に住所地を持つ患者が、北多摩西部の医療機関に入院している割合
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



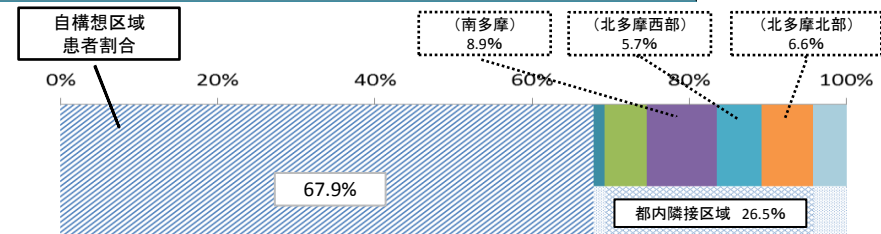
流入

1	南多摩	116.1人/日
2	北多摩北部	86.4人/日
3	北多摩南部	74.0人/日

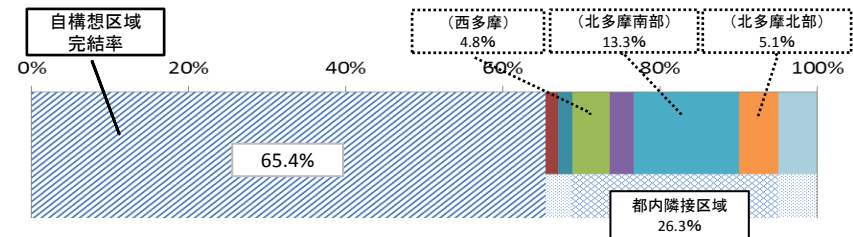
流出

1	北多摩南部	181.3人/日
2	北多摩北部	69.1人/日
3	西多摩	65.0人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 91.7%

- 流出・流入患者数が均衡している。
- 区中央部や区西部への流出も見られるが、主な流出先・流入元は多摩地域が中心
- 自構想区域完結率が65.4%で、都内隣接区域を含むと91.7%と、西多摩に次いで高い。
- 回復期リハビリテーション病床は、人口10万対で都平均1.2倍

《凡例》

- 北多摩西部
- 区中央部
- 区南部
- 区西南部
- 区西部
- 区西北部
- 区東北部
- 区東部
- 西多摩
- 南多摩
- 北多摩南部
- 北多摩北部
- 島しょ
- 埼玉県
- 千葉県
- 神奈川県
- その他・未詳

※ 自構想区域完結率: 北多摩西部に住所を持つ患者が、北多摩西部の医療機関に入院している割合

※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数

患者住所地
ベース

1137.9人/日

※2040年:959.4人/日

217.2人/日流出

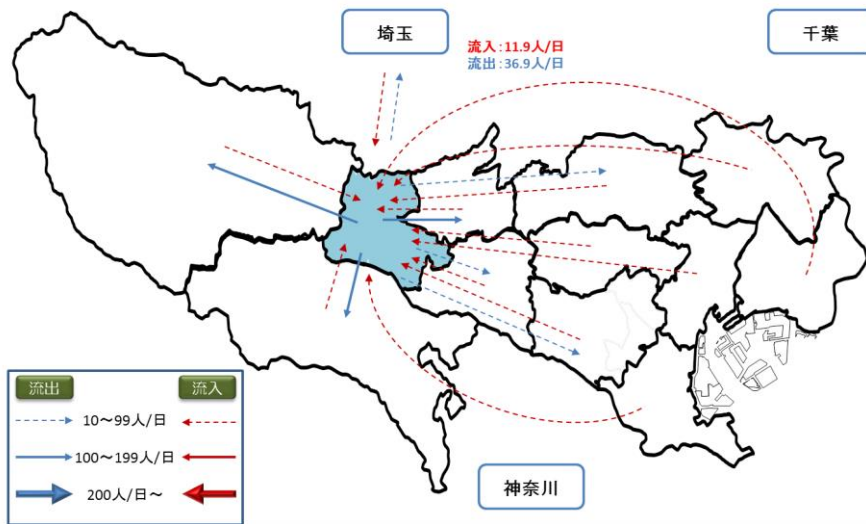
医療機関所在地
ベース

920.7人/日

※2040年:1226.9人/日

(流入) 456.3人/日
(流出) △ 673.6人/日

流 出 入 の 状 況



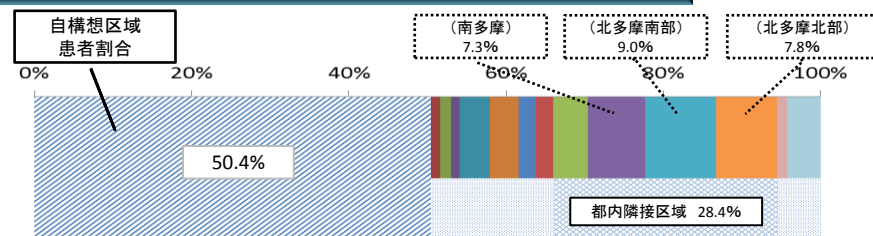
流 入

1	北多摩南部	82.8人/日
2	北多摩北部	71.6人/日
3	南多摩	67.4人/日

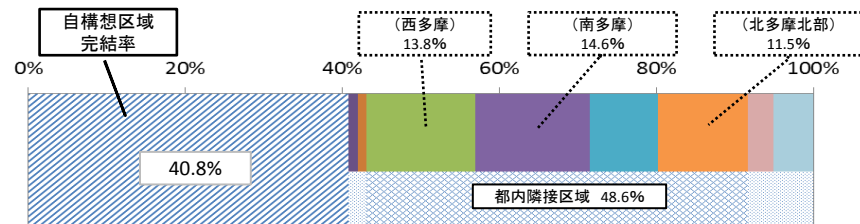
流 出

1	南多摩	166.5人/日
2	西多摩	156.7人/日
3	北多摩北部	130.6人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 89.4%

- 区部を含め、都内ほぼ全ての区域の患者を診ている。
- 自構想区域完結率が40.8%で、都内隣接区域を含むと89.4%と西多摩に次いで高い。
- 医療療養病床は高齢者人口10万対で都平均1.3倍
- 介護療養病床は高齢者人口10万対で都平均の5割
- 障害者施設等入院料、特殊疾患入院料を算定している病床数も多い。

《凡例》



※ 自構想区域完結率: 北多摩西部に住所地を持つ患者が、北多摩西部の医療機関に入院している割合

※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。